



名張市学校図書館だより 小学校版 平成二十八年春休み直前号 発行…教育センター

こんかい
今回のおしらせ
●春の本紹介
●卒業するあなたへ



ぞつぎょう しんきゅう

卒業・進級おめでとう

もうすぐ春休みですね！六年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。一〜五年生のみなさん、進級おめでとうございます。

四月から学年が一つ上がります。きつと、たくさんのお会いが待っていることでしょう。ドキドキワクワクのこの時期に、ちよっぴりむずかしそう…と頑張って本に挑戦してみませんか。思わぬおもしろさを発見できるかもしれませんよ。

ほんの世界は、楽しいことやワクワクがいっぱい！本の中ならどんなところへだって冒険に行けるし、妖怪や妖精にだって会える。魔法だって使えるもんね！



ほんの中ならできないことはない！どこへだって行けるし、何にだってなれる！

「春」がテーマの本を紹介します。

春が来てあたたかくなると、なんだかウキウキしてきますね。そんな春をテーマにした本を紹介します。

【はるってどんなもの？】作：あさの ますみ 絵：荒井 良二 発行：小学館



エリちゃんのカーディガンに5つならんでついている、ボタンのなかよし5人きょうだい。5人は、「はる」を見たことがありません。なぜなら、「はる」になると、引き出しのおくにしまわれてしまうからです。そこで、5人は「はる」を想像してみます。「はる」は、あたたかくって、いいにおいだから、カーディガンみたいで、ホットケーキに似ているものかな？

【「和」の行事えほん 春と夏の巻】

作・絵：高野 紀子 発行：あすなろ書房



なぜ、男の子のおうちはこいのぼりで、女の子のおうちはおひなさまをかざるのでしょうか？かしわもちやひなあれにも、おいしいだけじゃない、ちゃんとした意味があるのです。うさぎ・くま・きつねの家族といっしょに行事を楽しみましょう。

【さくらんぼ】作：今江 祥智 絵：宇野 亜喜良 発行：フェリシモ出版



「頭山」ともいわれる、落語のお話です。大好物のさくらんぼをいただいたよっさん、あわてて食べたので、種を飲みこんでしまいました。すると頭から芽が出てきて、りっぱな桜の木に。そしてよっさんの頭の上でお花見がはじまり、大さわぎに！ドイツのお話『ほらふき男爵の冒険』（ピュルガー：岩波書店他）にも、似たようなお話があります。※ちなみに、このほらふき男爵はゾロリ番外編の『オーボラーウ男爵の大冒険』（原ゆたか：ポプラ社）のモデルです。

そつぎょう 「卒業するあなた」に贈る本



いよいよ卒業シーズンですね。6年生だけでなく他の学年の皆さんもそれぞれの学年を「卒業」します。学年が上がれば、今までできなかったことができるようになるかも知れません。

「すぐあきらめてしまう『ぼく』」や「つついとおこってしまう『私』」から卒業できる人もいるかもしれません。古い自分を卒業して、新しい自分に出会えるかもしれない「あなた」に贈る本です。



【あさになったのでまどをあけますよ】作・絵：荒井 良二 偕成社

表でしようかいした【はるってどんなもの？】の絵を描いている荒井良二さんの絵本です。この本は、荒井さんが東日本大震災の被災地を何度もたずねて、かきあげた一冊です。あちこちの町の、朝の窓からのけしきがとても美しくえがかれています。表紙もキラキラとかがやいて見え、あたらしい、すてきな一日が始まる予感がします。ラジオたいそうの歌に『新しい朝が来た 希望の朝だ』という歌詞がありますが、これを思い出す人もいるかもしれませんね。この本は、1年生の教科書にもしようかいされています。



【たくさんのドア】作：アリス・マギー 絵：J・テウ 主婦の友社

『きょうも あしたも あなたは たくさんの ドアをあけていく
そのむこうに たくさんの あたらしいことが まっている』

これからの生活の中で、あなたはたくさんのドアをあけていくことになります。その先には、おどろくことや、楽しいこと、つらいことや、おもしろいことなどたくさん待っています。たくさんのドアをあけて、あなたはどんな人になって、どこへ行くのでしょうか？



【はじまりの日】作：ボブ・ディラン 絵：ポール・ロジャース 岩崎書店

『きみが 手をのばせば しあわせに とどきますように』で始まるこの絵本。「ボブ・ディラン」という人を知っていますか？アメリカの有名な歌手です。この本は、名曲といわれる『Forever Young』の歌詞に絵をつけたものです。この曲は、彼が息子のためにつくった曲だそうです。『さあ、曲を作るぞ！』と思って作ったのではなく、自然にうかんできて、そのままできあがったそうです。

学校司書
きかぬの
へんしゅうこうき
編集後記

卒業にかぎらず、ものごとには『節目』というものがあります。『節目』とは、ものごとの区切りとなる大事なところ。卒業や進級は、『節目』のひとつです。自分やまわりがガラッと変わりそうとき、それが『節目』です。『節目』で悩んだとき、かべにぶつかったとき、心がおれそうになったとき…そんなときに、上で紹介した3冊の本を読んでみてください。これらの本は、きっと、あなたが立ち上がるための知恵と勇気をくれることでしょう。